

## 第200回: 奇襲か強襲か…安倍さんの電撃参拝

半島のパクさんと大陸のシー君が、「日本は正しい歴史認識を持つべきである」と五月蠅く、六づかしく、七面倒くさく、且つ八釜しくがなりたてるものだから、200回目のスペシャル・エディションは歴史的仮名遣ひで書くことにする。浅学菲才ゆゑ、文法上の誤用も多いだらうが乞う御海容。

どうしてかうなつたのだらう。日中友好も韓流ブームも今は昔の幻か。安倍首相は吉本新喜劇の藝人ではない、決して「どつかれたらどつき返せ」の思考パターンではないと思ふが、きのふの靖国神社電撃参拝には吃驚した。日本中が仰天したくらゐだから「奇襲」参拝だが、大陸や半島方面の反発を覚悟の上で強行したと云ふ意味では「強襲」参拝でもあつた。これに対する全国紙の反応が面白い。全国紙を赤い色の順番で並べると、朝日、毎日、日経、読売、産経の順となるのは世の常識であり、案の定安倍首相への批判も、その順番で辛口であつた印象だ。その安倍批判のなかで最も秀逸だつたのが読売の「編輯手帳」である。面白かつたので少し引用して諸賢のご高覧に供したいと思ふが、幸いなことに引用を遠慮する必要はない。何故ならコラム作者が自他ともに認める引用の達人である「名文どろぼう(文春新書)」、「名セリフどろぼう(同左)」の竹内政明氏だからである。読売新聞の「編輯手帳」、朝日新聞の「天声人語」、毎日新聞「余録」、これら名物コラムは必ずしも一人で書いてゐるとは限らず、論説委員の持ち回りによる執筆もあるやうだが「編輯手帳」には一種のパスワードが隠されており、コラム上段の2つの◆◆と、同じく下段の2つの◆◆が、水平に並んでゐるのが竹内氏の作、さうでないのが、別の記者による作だと読売の人に聞いたことがある。以下は今朝(12月27日)のコラムの一部である。

一方通行の道を向こうから逆走してくる車がある。正しいのはこっちだからといって、走り続ける人はいない。ブレーキを踏み、止まる。〈正〉と〈止〉は横棒一本の違いである。【中略】国のために命を捧げた人たちに尊崇の念を示すことも、追悼に他国の干渉を受けないという信念も「不戦の誓い」の一言一句もどれも正しい。一方通行を逆走するが如き中国や韓国の過剰な反発が間違っている。【中略】首相の誤算が国益の〈幸〉を〈辛〉に変えなければいい。

編輯子は安倍首相の考へは正しいと認めてゐる。然は然り乍ら、一方通行の道を逆走するやうな危険な運転手には、それなりの身の処し方が必要であり、為政者たる者は国益を損なうやうな行動は厳に慎むべきであると首相に苦言を呈し、返す刀で逆走行ドライバーもバツサリ切り捨ててゐる。皮肉も辛子もたつぷり効かせ、記事とコラムの違いを際立たせてゐる技がニクいものだ。安倍さんは、このコラムを読んで決して喜ばないだらう。一方、喜ぶどころか、怒髪天を衝いて憤激するに決まつてゐるのが、逆走運転手と名指された大陸及び半島方面の指導者たちだ。

靖国問題や領土問題で日本に執拗に絡み、因縁をつけてくる中国と韓国だが、彼らの日本に対する反感

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

には大きな相違があるやうに感じる。ロジックとして分かり易いのは中国による日本批判だ。戦前の中国は日本に侵略され、日中戦争で数多くの中国人が戦火に斃れた。だから「日本が軍事大国に逆戻りするやうな行動は許さない」と云ふ中国共産党の論法は理解できる。問題は「日本が軍事大国に逆戻りしてゐるか否か」と云ふ事実関係に関する中国の判断能力だけだ。

因みに中国共産党の指導者のなかには、新中国を見ることなく戦乱で斃れた烈士が多く、彼らの偉業は歴史文献や傳記によつて高く評価されてゐるが、その生涯を子細に分析すると日本との戦闘で戦死しないしは処刑された無名の人物は一杯あるやうだが、当時から抜きんでゐた存在で、戦争と革命を生き延びることに成功すれば、元帥や閣僚になれたかも知れない指導者級の人物で、日本軍によつて殺害された人物が殆どゐないのが誠に不思議である。例へば惲代英、鄧中夏、葉挺、項英・・・中国では誰でも知つてゐる著名な革命烈士の大半は国民党によつて殺されたか、さうでなければ病死事故死だ。日本軍は国民党とは戦つたが、ゲリラ戦と称し逃げ廻つてゐた八路軍との大規模戦闘は、1940年に山西省から河北省の一帯で続いた「百团大戦」くらゐしか見当たらないが、これとて国民党軍に参加中の中国共産党軍と、帝国陸軍との間で交わされた師團規模の戦闘に過ぎない。共産軍と日本軍との「会戦」などある訳もなかつた。

閑話休題、一方韓国は歴史的背景が中国とは異なる。戦前の日本は朝鮮半島を領有し植民地としたが、朝鮮王国と戦争したわけではない。帝国臣民として戦争に駆り立てられ戦没した朝鮮人は多いが、日本軍の所為で亡くなった犠牲者数は、中国の方が朝鮮より遙かに多い。しかしながら、朝鮮半島に住む人たちの心情から云へば、対等の立場で干戈を交えた戦争による被害よりも、植民地で隷属を強ひられた屈辱感の方が心理的な痛みが強く、何年経つてもトラウマが消へないやうだ。朴大統領がいみじくもたまふた「加害者と被害者の立場は千年の歴史が流れても変わらない」と云ふ「千年恨」はけだし名言だ。

安倍首相の電撃参拝はきのふの出来事であり、不意打ちを食つた中韓両国の今後の反応には注意する必要があるが、いまのところは抑え気味の反論に止まつてゐる。両国とも安倍さんの意固地な性格に手を焼いてゐるものの、日本に罵詈雑言を浴びせた結果、国際経済が悪化する愚だけは避けたいやうだ。

中国の不動産バブルと地下金融は破裂寸前にあり、経済の舵取りを一步誤ると社会の安定を損なう危険がある。韓国経済は円安のあおりを受け更に悪化、サムソンですら収益悪化に苦しんでゐる。強情な安倍さんに、パクさんもシー君も怒り心頭だらうが、「態度の極めて悪い日本の右派分子」に構う余裕は中国にも韓国にもないのである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成25年12月27日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号  
日本証券業協会 加入  
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### ①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。